

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [仕事に対する考え方](#) (仕事と「志事」)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

仕事に対する考え方 (仕事と「志事」)

仕事や活動について、どのように捉えていますか。

他人の仕事をするをレイバーと言います。私の仕事することはジョブです。そして、八たを楽にする(働く)仕事は、ワークと言います。

自己実現の欲求、自分らしい仕事とは何か。

1. 自分が本当にやりたい仕事は何か。(自分の見直し)
2. 自分に何が出来るのか。(能力の見直し)
3. 自分にとって一体職場とは何か。(職場の変化と見直し)

が必要となります。そこから私の仕事のキャリアプランも見えてきます。

私の仕事のキャリアプラン

1. 他人がやらないようなもの。
(仕事は生活のための手段か、仕事とは人生の活動)
2. 自分にしか出来ないもの。
3. 何かの役に立つ。

そして、仕事は「事に仕える」と書きます。したがって、会社の仕事は会社に仕えること。労働組合の活動を仕事と呼ぶなら、それは組合に仕えること、になります。

仕えることを業務とする仕事には「私」が存在しません。指示・命令によって業務・仕事をする、だから管理が必要となります。管理とは、秩序や規則を基本に組織(集団)によって人を行動させる営みです。

労働運動は組合の仕事遂行するものではありません。もし、組合活動(労働運動)のことを組合の仕事と言うのであれば、仕事を志事にしなければなりません。志=こころざすことです。

私たちの職場を「こうしたい」「生活をもっと良くしたい」という願い・欲求とそれを実現する目標が「志事」にはあるからです。

仕事は指示命令で行動します。しかし、「志事」は自らの主体によって行動します。

労働運動は労働者一人一人の願いから出発していますから、そこにはすでに目標があります。ですから、仕事と言わず、運動というのです。しかも永続的に時代と共に時代を創っていく運動(活動)なのです。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

📄 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.